

令和4年度 下水道部組織目標

組織名	下水道部	部長	下水道部長 時田 一男
組織の目的・方向性	<p>人口減少に伴う厳しい経営環境、気候変動の影響による自然災害の激甚化、施設の老朽化、脱炭素化など、下水道が抱える課題が深刻化を増している中で、下水道事業の持続性を確保する観点から、これまで講じてきた施策及び顕在化した課題の解決に向けた取り組みについて整理し、持続可能なサービスの提供、市民の安心・安全な都市づくり、快適に暮らせる生活基盤の構築に向けた各施策を、事業の緊急度・優先度を考慮し引き続き取り組んでいきます。</p>		

下水道部組織目標

下水道部では、第2次下水道中期ビジョン(2019～2028年度)を取り組みの柱とし、下水道サービスを持続可能なものとして安定的に提供するため、予防保全型の維持管理とストックマネジメントによる計画的な改築更新、雨や地震に強い都市づくり、総合的な汚水処理の推進、創エネ・再エネ利用などによる脱炭素化に取り組みます。また、持続可能な下水道運営を支える「財政・人材・広報」については、公民連携などによる経営の効率化や専門職員の育成による組織強化を推進するとともに、新型コロナウイルスの影響による活動の制限を受ける中、広報や情報発信による市民への理解醸成を図り下水道への接続向上に取り組みます。

この方針のもと、下水道部は次の4つの取り組みを重点的に実施します。

重点目標

- 1 健全で持続可能な下水道施設の機能確保を図るため、計画的な改築更新を推進します。
- 2 市民の安心・安全な暮らしを守るため、雨や地震に強い都市づくりを継続して推進します。
- 3 環境にやさしく、快適な暮らしを早期に実現するため、総合的な汚水処理を推進すると共に創エネ・再エネ利用などによる脱炭素化に取り組みます。
- 4 持続可能な下水道運営を図るため、公民連携などによる経営の効率化、経営基盤の強化に取り組みます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	<p>下水道施設の老朽化が進行するなか、ストックマネジメントによる計画的な改築更新に努めました。</p> <p>船見下水処理場では、管理棟を津波避難ビルに指定し、地域住民の安心安全の向上に努めました。</p> <p>東区を中心とした8月4日の局所的豪雨により、浸水被害が発生した複数の地域と意見交換を重ね、浸水対策の方針を決定しました。</p> <p>総合的な汚水処理の推進では、市街化区域内の下水道未整備区域における整備方針について、地域と意見交換を重ね、課題の整理を行いました。</p> <p>管路の包括的民間委託について、プロポーザルによる業者選定により11月か</p>				

	<p>ら業務委託を開始し、課題の抽出を行いました。また、マンホールポンプのクラウド型遠方監視システムへの移行を進めるなど、経営基盤の強化に努めました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>市総合計画に位置づけた施策を推進するとともに、第2次下水道中期ビジョンの改訂をおこない、引き続き、計画的な改築更新に取り組みます。</p> <p>局所的豪雨で浸水した複数の地域との意見交換を引き続き行い、浸水対策を進めるとともに、気候変動に対応したハード対策の加速化やソフト対策の充実とあわせ、流域治水の取り組みを進めます。</p> <p>総合的な汚水処理のさらなる推進に向け、市街化区域内の未整備区域の整備方針について、引き続き、課題の整理や地域との意見交換など検討を進めます。</p> <p>近年の光熱水費の高騰など経営状況の変化を受け、経営分析を進めるとともに、民間活力導入による経営のさらなる効率化と経営基盤の強化を推進します。</p>